

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< No.62 2012.1.15 > 連絡先 402-1622

出初め式に出席しました

1月8日、消防出初式が、消防局、各地域の消防団、市医師会、民間救助隊、虎伏災害救助隊、婦人防火クラブ、事業所自衛消防隊、幼年消防クラブのみなさんなど、2500人あまりの方々の参加で行われました。たくさんの方々のみなさんによって地域の安心・安全が守られているのだと、頼もしく感じました。

救助訓練では、高所に取り残された人の救助訓練がおこなわれ、はしご車を使った救助や、ロープ1本で壁を登り下りする救助隊の機敏な動きに、日ごろの訓練の厳しさが思われました。また、5,6歳児が一生懸命、演奏しながら行進する姿はかわいらしく、拍手がおこりました。



泥棒は金目のものだけ持っていくけど、火事はすべて持っていってしまうとも言われます。自然災害は一人ひとりの注意では避けられませんが、火事は避けられます。あらためて、気をつけなければと思います。

寒い中の式でしたが、参加のみなさんお疲れさまでした。

みち子のひとりごと 年賀状

年末は何かと忙しく、年明けから年賀状を書くということが、もう10年以上続いています。

茨城にいたころは絵手紙をしていたので、一月一日には道具を広げ、一日中かかって年賀状を書いていました。今はパソコンで作ったものに、相手の顔を思い浮かべつつ、一言書き添えます。

主に、大学の友人、茨城の友人、茨城の前に住んでいた町田の友人など、普段はなかなか会うことのできない人たちがばかりです。いただいた賀状を見ながら、それぞれ当時のことを思い出して、いろいろな人と知り合い、助けをもらいながら生きてきたなあ、と振り返っています。「今年も定年です」というメッセージに、この人がそんな年に！と驚き、「また会いたいね」という書き込みには、そういえばもう何年会っていないだろうと思いを馳せ、写真の整理をしていて見入ってしまう時ほどではありませんが、時間がかかります。

「年に一度のごあいさつ」になってしまっているけれど、人と人のつながりを確かめ合える年賀状です。



《税と社会保障の一体改革》

年明け早々、野田首相が「ネバーネバーネバーネバーギブアップ」と出してきたのが、この「税と社会保障の一体改革」です。一体改革と言われると、「国民のみなさんの税金の負担が増えますが、その分社会保障を良くしますよ」というように聞こえてくるのは私だけでしょうか。実際は、「税の負担はもちろん増えます。そして社会保障も切り下げます」という内容になっています。

では、その中身は、どうなっているのでしょうか。順に見ていきたいと思います。



税負担について

消費税の引き上げ・・・2014年4月に8%、2015年10月に10%
食料品も同じ税率に。

そもそも2009年、民主党は「4年間は消費税を引き上げない」と公約して選挙をたたかいました。国民に信を問わずに増税法案を出す資格はありません。引き上げるのは4年以降だというのは詭弁です。

また、「無駄を削れば財源はできる」というていたにもかかわらず、大企業と大金持ちに年間1.7兆円もの減税、ハッ場ダムのような大型開発を復活し、1機100億円もする戦闘機を42機も購入しようとするなど、浪費を拡大しています。こういった無駄はもちろん、思いやり予算をやめる、「政治家がまず身を削る」というなら政党助成金をなくす、大企業や大資産家に応分の負担をしてもらうなど、徹底的に是正すれば増税の必要はありません。

さらに、右の表のように、世界の主要国の消費税率を見てみると、ほとんどの国で、食料品など生活必需品に対しては、0あるいはより低い税率となっています。

しかも国税収入に占める消費税の割合は、日本はすでに26%に達しており、税率17.5%のイギリスでも21.5%に過ぎません。税率は5%であってもすべてのものにかかっていることの負担の大きさの表れです。日本の消費税は、すでに世界でも最高水準のものとなっているのです。10%になれば、暮らしを壊し、日本の経済に更なる打撃を与えるのは明らかです。

世界の国々の消費税率（04年）

国名	消費税率 (%)	食料品 (%)
イギリス	17.5	0
フランス	19.6	5.5
イタリア	20	10
ドイツ	17	6
オランダ	19	6
アイルランド	21	0
ポルトガル	19	5
スペイン	16	7
ノルウェー	7.6	2.4
スウェーデン	24	12
デンマーク	25	25
オーストラリア	10	0
メキシコ	15	0
アメリカ	州による	州による

